

平成 29 年 9 月 27 日

遺伝子組換え表示制度の在り方の検討開始に当たっての論点について

一般財団法人 食品産業センター
武石 徹

遺伝子組換え表示制度の在り方の検討開始に当たって、今回、消費者庁の論点整理が示されたが、食品産業センターとしては次の3点については、遺伝子組換え食品表示制度を議論する前提の食品表示制度全体に関わる大きな課題として、本検討会で議論することを提案したい。

1 表示制度見直しの在り方の検討

第1回目の提出資料で主張したとおり、平成27年4月の食品表示法制定に伴う、新しい食品表示基準の制定後、平成28年4月の新しい製造所固有記号制度の導入、今年平成29年9月からの新しい原料原産地表示制度の導入と、この3年で毎年、食品表示制度の大きな見直しが続いている。

事業者が容器包装上の表示を見直すためには、一定の時間とコストがかかることから、食品表示制度が毎年のように変更されると、事業者はその都度、全体の表示デザインの見直しや根拠資料の整備、システム変更等が必要になり、(参考1)新制度への対応が遅れ、結果的に新しいアレルギー表示や栄養成分表示と言った消費者が求める情報提供が遅れ、その情報を求める消費者のニーズに対応出来なくなる。

また、食品表示問題以外にも HACCP への対応等で厳しい経営環境下にある中小事業者にとっては毎年の変更は経営問題に繋がる大きな問題である。

食品表示については、平成27年のように表示制度全体を見直すことを基本とし、原料原産地表示や遺伝子組換え表示、添加物表示などの積み残し課題については制度の骨格の議論を行うことまでにはいいが、具体的な制度設計は一括して行うこととし、少なくとも制度の適用時期は一括して設定するといった表示制度の見直しの在り方についてルール化すべきではないか。

法に基づく食品表示は企業にとって規制そのものであり、頻繁に行われる過重な規制強化は国内事業者の経営を圧迫することから、事業者が余裕をもって表示の見直しを行えるような安定的な表示制度の運用ルールの確立が必要と考える。

2 義務表示見直しの優先順位などについて

第2回検討会で日本生活協同組合連合会の二村氏や消費生活コンサルタントの森田氏が指摘され、当方も資料提出したように義務表示を見直す場合は、食の安全に関する事項を優先する必要があるとともに消費者ニーズの検証が不可欠と考える。この点について議論、整理が必要。(参考2)

今回の原料原産地表示を含め、包材上の義務表示事項が遺伝子組換え表示制度発足時と比べ大幅に増える中で、遺伝子組換え表示について、全ての事業者に包材上の表示を義務付けるような制度を創設することは限界を超えると考える。仮に新設するのであれば、食の安全に関わる情報が確実に表示され、視認性が落ちないように、現在、義務化されているものでも、優先順位の低いものについては廃止を含め検討すべき。

また、安全性に関わらないものであれば、義務表示でなく、ガイドラインのようなもので事業者の取組を促進する手法も考えるべきではないか。(参考3)

なお、容器包装への表示については、食品表示法その他、資源有効利用促進法、商標法、米トレ法などの法律に基づく表示や、地方自治体の条例に基づくもの、商品識別コード(JANコード)、公正競争規約や業界ガイドラインに基づくものなど多様なものがあり、こうした各種表示間の整合性や包材上への表示スペースについて調整する仕組みの検討が必要と考える。

3 消費者の遺伝子組換え食品の安全性についての理解促進について

第1回、2回の検討会で提出したように、消費者にとって遺伝子組換え食品についての不安感があることが大きな課題であり、国が中心となって、国民とのリスクコミュニケーションをしっかりと図る必要がある。

15年前の遺伝子組換え表示制度発足以降、食品安全基本法が制定され、食品安全委員会が発足し、厚生労働省や農林水産省とともに、遺伝子組換え食品を含め、食品のリスク評価やリスク管理の仕組みが新たに整備されたこと、カルタヘナ法の制定等による生物多様性の確保等の法律的な整備が進んでいること、更には世界的な遺伝子組換え農産物の生産流通の拡大等や医療分野での遺伝子組換え技術の進展について、国としてリスクコミュニケーションをしっかりと行うことが、消費者の不安解消のポイントである。食品表示の見直しだけでは、消費者の遺伝子組換え食品に対する不安は解消されない。

これまでの遺伝子組換え食品に関するリスクコミュニケーションの実績、成果を整理し、理解促進に向けた方針を立てる必要があると考える。

なお、消費者庁が取りまとめた論点 1～4 については、これまでの事業者ヒアリングを踏まえればコーンフレークの追加以外は基本的に難しい課題と考えるが、消費者への情報提供の可能性等も視野に、具体的には各論点整理の議論で個別に意見を出して参りたい。